

5番 児玉 美環子 議員

1 妊娠・出産・育児における切れ目のない支援について

- (1) 流産・死産で苦しむお母さんや御家族をサポートする体制を強化する必要があると考える。子どもを亡くした悲しみに寄り添うグリーフケア事業を実施する考えはないか。

2 大規模災害に備えた人的受援体制について

- (1) 大規模災害が発生すると、自治体には平時を大きく上回る業務が発生する。本市の職員自身が被災し十分に参集できない可能性もあり、他自治体からの応援職員を受け入れ、速やかに住民支援に取り組む体制の強化が求められる。他自治体等からの人的応援の受入れに関する受援計画は策定されているか。
- (2) 避難運営、住家被害認定、罹災証明書交付、被災者相談などについて、災害時に必要となる職員数と、不足が見込まれる職員数を事前に算定しているか。
- (3) 人的応援を要請する判断基準、責任者、県や協定自治体への要請ルートは明確になっているか。
- (4) 応援職員の受入れを統括する体制、執務場所、宿泊場所、各部局への配置と指揮命令の方法は整備されているか。
- (5) 平常時において受援体制の確認・訓練を行うことが、その実効性向上のために重要であると考えているが、どうか。